

# 関常幸 議会報告

第24号  
2011.10

発行責任者  
南魚沼市議会議員 関 常幸  
南魚沼市浦佐2015番地  
TEL 025-777-2245

## 実りの秋に「TPP」を考える！



今、雇用の場が無い、賃金が安い、競争力の弱い産業の衰退と地域経済が疲弊しきっている。

日本経済の再生には、TPPへの参加が不可欠だと経済界は声高に謳っており、野田政権は参加に前向きで、一部自民党も同調している向きがある。

これ以上自由貿易を推進すれば、日本企業は海外に拠点を移し、仕事を得ることが難しくなる。中小企業は中国などの新興国との競争が激しくなり、賃金低下が起きる。その結果、購買力は低下し地域経済はますます活力を失う。

自由貿易をすれば何でもよくなるという主張は、非常に単純な観念論で乱暴だ。保護主義や規制は、問題に対する実用的で合理的な解決策だ……！

TPPのように画一的な貿易の自由化でなく、相手国や商品によって、貿易の拡大や保護主義的な措置を組み合わせるべきで、それぞれの国には、それぞれの文化や歴史、伝統や慣習がある。それを取っ払っての貿易の推進は問題だ……。

もし、TPPに参加すれば、例えば医療では「混合診療（保険診療と自由診療）が解禁」され、公的医療機関が縮小する。その結果「治療に格差」（所得の少ない人は医者にかかれない）が生じることになる。コメは生産量が90%減少し、新潟コシヒカリや有機米を除いて、輸入米に置き換わり、田んぼが日本から消失する。農業や地域経済に壊滅的な打撃を与えることに加えて、その影響は雇用、食の安全や安心、金融や保険など幅広い分野におよぶものだ。

このように、日本の存立にかかわる問題にもかかわらず、議論の材料となる十分な情報さえも国は出さない。そして、TPP交渉の中身がわからないまま、議論を急ぐべきでない。

民主党、自民党とも十分な議論をつくり、国民が納得するようにすべきだ。

私たちも、収穫に感謝し、食卓を囲み「TPP」について考えよう……！！

※ TPP（環太平洋経済連携協定）は、原則全ての産品で関税をすべて撤廃し、徹底した自由貿易を行う協定で、米国など9カ国は11月合意を目指す。

## 9月定例議会 ～ 豪雨災害対策で過去最大の73億円の補正を

九月議会は、決算議会とも呼ばれ、会期は六日から二十二日まで  
の十七日間。

二十二年度の一般会計決算三三  
八億円、7特別会計二五八億円が、  
目的に沿って適正に使用された  
か。そして、行政効果が発揮され、  
市民のサービスは万全かという視  
点で議会に臨む。

● 一般会計決算について、減債  
基金への積立四億円、土地の買戻  
し五億円、城内診療所の精算三億  
円などの将来負担を減ずる措置  
を講じながら、四億円の黒字とな  
った。常に財政健全化を念頭に事  
業を進めてきた事に賛意を表す。

● 初日に、二十三年度一般会計  
補正予算で七十三億円が提案さ  
れる。その事により、**財政が悪く  
なることは一切ないと数字を挙  
げて市長は説明する。納得する。**

● 十八人が一般質問で登壇し、  
市長と対峙したが、そのうち十四  
人が豪雨災害に関連する質問を  
行う。市民の財産と命を守るとい  
う視点から時には声を荒げて、時  
にはソフトに市長に迫る！

## 一般質問(9月14日)

### ●豪雨災害対策について!

7月28日から8月7日まで、浦佐の災害対応に当たっていたので、8月11日の災害現地巡回で六日町、塩沢の被害の大きさにびっくりした。

登川堤防の決壊、泉盛寺の土砂流出、樺沢・上越国際スキー場の惨状、五十沢キャンプ場の道路の崩落寸断。小川、土沢の土砂崩れと大惨事を前に声が出ませんでした。

浦佐新町での豪雨災害対策を、議会で検証することが、市の防災対応に大切ではないかと、感じたので最初に話しさせていただきます。

新町での浸水は魚の川の増水と同時に28日夜から始まり、一旦は水は引きましたが、29日の夜から徐々に多くなり、30日の午前10時ころが最高位に達し23棟が床上となった。

水が引けたのが確か8月2日でしたので5日間浸水状況でありました。この5日間の泥水の浸水というのが、泥が土が堆積し、水が引けた後も後片付や復旧作業を困難にさせた。

7月30日の早朝、黒沢の土石流が川を埋め、山のような土石流を見、そして、真っ赤な泥水が町内を埋め尽くした様子は、お盆を迎えられるのかと思った。

お盆を迎えられたのは、大和庁舎の的確の対応と消防団、大和建设業企業体の支援のおかげだ。

土砂の搬入場所は、瓦礫の処理は、ヘドロはどこに捨てる。重機が足りない。又、7月30日国交省の排水車はまだか、消防団に小型ポンプの要請をしたり、救出ボートの出動と大変な一日でした。このように、毎日現場の状況は変わる。そして、町内からの相談、要望等も日々多くなる中で、市役所は、100%すぐに対応した。

一例をあげれば、8月2日夜7時頃、被災者の

方から「4日も知人宅や親せきの風呂をもらうのは気が引ける。浦佐温泉を利用出来ないか。」の要請に対し、5分後にはOKの回答です。すぐ該当の家に連絡し大変喜ばれた。

又、8・3の朝の町内常会で、側溝や山からの土砂に放射線は、公園を臨時ヘドロ場所にしたが大丈夫なのかという、心配に対しても、午前11時には職員が機器を持参し、10か所の調査をし不安を払しょくしてくれた。

60戸の町内はというと、このような甚大の災害は、昭和44年8月の水害以来で、どうしていいのか、何をしていたのか…。行政は消防団は何をしているのかと、一種のパニック状態でした。

町内の臨時常会を31日、3日、5日、7日と開いた。日々状況が変わる中で、この会議は大変有益だった。町内のまとまりも更によくなり、町内で助け合いが始まった。

今回の町内の災害を通し、一番の教訓は情報の共有の大切さだ。地震等の自然災害は、防ぐことは出来ないが、災害は最小限に食い止めることができる。そのためには「自主防災組織」のありかたが一層重要と学んだ。

浦佐新町での浸水について3点伺う。

- 魚野川が氾濫すると南魚沼市で市街地が埋没するのは浦佐地域だけだがその対策は(外水氾濫)
- 土石流で流木が魚野川の水門をふさぎ、5日間浸水した。その排水対策は(内水氾濫)
- FMゆきぐに(ラジオ)の電波(災害情報)が届かない事への対応は。

### <市長答弁>

- ・越水しないように国に求めるが、当面は水位を監視し命を守るために避難勧告を早く出す。
- ・樋管の断面を大きくするように国に要望する。山地崩壊防止のために治山事業を行う。
- ・受信アンテナの設置に向けて検討している。

トピックス

7/7~9 陸前高田市へボランティア



7/21~22 松本市行政視察

7/30 豪雨災害・浸水



8/16 招魂祭

## 9月議会概要(6日~22日)

### ★ 市長所信表明



- 7月の新潟・福島豪雨災害で被災された皆様にお見舞いを申す。
- 本災害の被害額は、市・県の土木関連で81億円、農林水産業で110億円、この他に国、観光施設関連を合わせると200億円に上がる。早期の復旧に努める。
- 大崎地区に特別養護老人ホーム「雪椿の里」(80床)が来年6月にオープン。
- 今泉博物館敷地に観光交流拠点施設として「道の駅」「直売所」が来年6月のオープンめざして急ピッチで建設が進んでいる。ただ今、愛称募集中。
- 市立の特別支援学校の開設を25年4月開校をめざし進めている。場所は南魚沼消防署前の南魚沼市職業訓練共同施設の教室を改修して開設。
- 8月に、塩沢中学生8名が韓国の動岩中学校訪問を、第4回目を迎えた中学生海外派遣で20名がアメリカ合衆国へ。

### <萌気園浦佐診療所が天王町に移転>

最終日に、唐突に第87号議案「財産の減額譲渡について」(内容は幼稚園跡地の一部を萌気会に売却し)が提案される。

私は、地域医療という公共に寄与することだから財産の減額譲渡には問題ないが、地元の皆さんは、基幹病院や大和病院の姿がはっきり見えない中で、唐突に「萌気園浦佐診療所」が天王町に移転するとの話は、いろいろの憶測や心配や不安の声が上がることは必至だ。市民を心配させないためにも、議会で十二分に議論を尽くす必要があったのではないか。

市長は、12月議会に提出の予定であったのだと煮え切らない答弁に終始する……。

唐突の提案に対し、対応について各党派や議員同士で協議する。議員からは、基幹病院や大和病院との関係もあるし、こういう提案の仕方は問題だと、強硬な意見も出る有様だ…。一時は否決だとか、議長提案で継続審議という方法もある等々……、またまた、議会運営委員会は何をしているのだ等々大もめする。

萌気園浦佐診療所が移転すれば、毘沙門通り(本町)の人通りは少なくなるのは必至だ。診療所跡は、認知症のデイサービスとしての利用や、元気老人施設としての利用が計画されているようだが、市も萌気会も、「議会」「地元」に、ほとんど説明が無いそのことが問題なのだ。

そういう大変な状況の中で、それぞれが考えをもって議場に臨んだ。多くの議員が質問する。私も佐藤議員も質問する。遺憾であると……!

採決の結果、原案に「賛成20、反対2、棄権2」で可決する。議員誰もが黒岩先生の地域医療に対する理念、活動には敬意を表しており、ただ一点、唐突の提案に対してであった。

### <発議第12号「市議会議場に国旗及び市旗の掲揚に関する決議」が提案される>

この案件も、賛成、反対と激しい応酬が続き、賛成多数で可決される。可決された後、議長が取り扱いについては、全会一致が望ましく、議運で協議されるべしとくぎを刺す!!

日本の象徴である、国旗は議場に掲揚されるべしと思うが、反対者は日の丸(国旗)を戦争と関連付けており、その事からの反対である。戦争ではなく「平和」のシンボルとしての国旗と考えられないのだろうか……。

8/28 浦佐地区明朗運動会



9/10 びしゃもん市お祭り

9/17 ブドウまつり



9/21 長島代議士国政報告

## かわら版(ミニ情報)

### ★姉妹都市「いすみ市」訪問(9月23・24日)

平成元年に旧大和町と旧岬町が姉妹都市となり、合併してからも交流が続いている。今年は、冬の大雪、7月の豪雨災害では、いち早くお見舞いをいただく。

福島原発の放射能問題で、いすみ市からの要請で、幼児向けに南魚沼市から水を届ける。そんなこともあり、いすみ市長から「大原はだか祭り」に招待される。歴史と勇壮の祭りに、参加者一同、心が洗われる。



20基の神輿が海に入る



神事に参加の市長、議長



神輿の先頭を歩く両市長



訪問団市長、議長以下7名

### ★第25回記念 浦佐温泉耐久山岳マラソン大会・健康歩こう大会(9月4日)

日本中台風12号の影響で大雨になっておる。昨日などは魚野川真っ黒になっていた。塩沢や六日町では雨が降るのだが、ここ浦佐は雨が降らない。事務局に本当に数多く、中止かどうかの問い合わせで電話は鳴りっぱなしと言う。

本当に台風が心配されたが、事故もなく無事終わりホッとする。



20回記念大会の招待で片岡選手(1万メートルや長距離の前日本新記録保持者)と福田六花先生(6月のグルメマラソン大会のコーディネーター)



KJは1・2年生が毎回参加しており、台風のため3年生八海山登山が中止となり、3年生も大会に参加。ゴールは合格祈願柱が待つ浦佐駅。



16時スタッフ全員での反省会。これが楽しみでスタッフに!

### ★祝 浦佐地区敬老会(9月11日)



新町の皆さん



富町のめぐです



浅地町の皆さん



田町の皆さん



熱演の順吾さん

編集後記  
 ●八月十六日、招魂祭を十年ぶりに行う事ができた。  
 浦佐地区では167名の尊い命が戦争で犠牲になり、招魂社にその御霊が祀られている。  
 今の平和はこの人たちの犠牲の上に立つての平和です。  
 この歴史を忘れないためと、二度と戦争をしないために招魂祭が復活した。  
 ●七月の豪雨災害から二か月。被災された皆さんは、少し落ち着きましたか。  
 市は全力で、復旧復興に当たっています。気軽に何でもお問い合わせ下さい。  
 ●ホームページ、関常幸で検索ください。朝晩寒くなりました。健康にご留意。